

2022年1月10日(昭子さんより着信)

+++

今年もよろしくお祈りします。穏やかに年が明けましたと言いたいところですが、大統領が新しい法令を出し、1月1日からCOVIのワクチン接種証明カードを全ての公共の場で提示することを義務付けました。それにより多くのワクチン未接種者がワクチン接種の長い行列を作り、また、あちこちで反対デモが起こり、この法令は1月26日まで延期になりました。

私も未接種なのでなければ銀行にも行けません。仕方ないと思いつく近くの診療所に行きましたがワクチンがまだ届いてないとのこと。しかもワクチンを2回以上受けないとダメみたいです。

今の政権ですからこのように少しずつ自由が奪われていきます。残念です。



こちらの写真は学校の通学風景です。

2022年2月13日(ご支援者様より着信)

+++

(Josueへ誕生日のお祝いメールをお送りなされたご支援者様へ)

Josueはカードをととても喜んでいました。2月2日は3人が誕生日で、その日ミサを家で立ててもらいました。そして誕生日プレゼントは、彼がずっと前から願っていた電動自転車にしました。彼が色々なわがままを言わなくなったら、と、毎日祈ること、が条件で、1ヶ月前から職員がチェックしてOKがでました。ミサのあと神父様に祝福してもらいました。1ヶ月以内にうまく操作できなかつたらRONARUDに譲るからといったのですが、もうすっかり使いこなしています。

職員もみんなJOSUEに運転できるはずないと言っていたのですが、彼の才能を改めて認めた次第です。

2022年2月13日(昭子さんより着信)

+++

いつも返事が遅くなってごめんなさい。私はほぼ毎日畑にいます。

理由は、うちの隣の土地の地主が突然現れ、しかも2人も。彼らの土地争いがあり、警察や、役所の人も来て毎日心配でしたが、やっと解決ついたのか、塀を立て始め、それから家も。毎日10人くらいの左官が働き始めました。うちと隣の土地は、彼らの方の土の塀で仕切られていたのですが、塀が壊され、家が丸見えになってしまいましたので、畑を空けるわけにはいかず。

もう一つの理由は、11年働いてもらったEmilioの奥さんに1月いっぱいでもやめてもらったため、畑の仕事が増えたためです。出費を減らすため。この畑のことは問題いっぱいですが、やっと野菜もよくできるようになり、しかも無農薬でこれをもっとよく利用したいとの欲も増え、、、、ただCAPEDISをほったらかしにして、と、毎日葛藤です。

さて写真を送りましたが、今年から障がい者の学校に6人、盲学校に2人、夜間高校に1人通うようになり、家に残るのはMaria Luzと2人の学校にも通えない重度障害の女の子です。といってもまだコロナの影響を考え時マイナーネットでの授業が行われています。皆本当に嬉しそうに出かけていますヨ。(略)

コロナの件も私達の周りではあまり心配するようなことは起こっていません。

私もワクチンを打たないつもりでしたが、国の規制があるようになりましたので、仕方なく2回接種済ませましたが、その後あまり調子がよくありませんが、いつか元に戻るでしょう。それではまた。皆様によりよくお伝えください。

車いすを乗りこなすホスエと、



笑顔で見守る昭子さん。

農場で採れたびわといちじく。おいしそうなこと..



カペディスの子どもたちは、グラシエラ、ロサリア、古着の店をやっているマリア・ルース、この3人以外は、みんな障害者の支援校に通っているそうです。

独り暮らしをしているローナルは今、オペレーターの仕事をしていますとのこと。

ローナルは自作自演の歌をレストランやイベント会場で歌うことで収入を得ていましたが、コロナ禍の状況で仕事がほとんどなく、彼の友人の勧めでオペレーターの仕事を果たそうです。

先のお知らせにありました、ホスエの誕生日のプレゼントに、昭子さんが電動自転車を買って与えた時、わがままを言わないこと、癩癩を起さないことを約束し、尿や便のおもらしもなくなったとか。

右の写真は、3月3日の昭子さんの誕生日！風景を動画で送って下さったものを写真に切り取ったものです。(動画はホームページにあります)

聖マルティンの家の皆で歌ってお祝いして、とっても元気にぎやかな様子ですよ！



2022年3月4日(支援者様より着信)

(電話の内容を支援者様と編者が編集)

+++

日本時間の3日の朝、昭子さんから電話が来て話しました。口をはさめないほどとても早口で、とても元気そうでした。

左の果物の写真は、紫はカペディスの農場に昭子さんが植えたイチジク、黄色は枇杷の実で、去年から収穫できるように成長したそうです。昭子さんが是非見せたいと送ってくれました。

2022年5月30日(昭子さんより着信)

+++

近況を箇条書きにてお知らせします。

① 職員の給料が3%上がりました。

が、最低給料が4%増しになった為、殆どの職員は4%増しになります。

② それに加えて今年2人の職員が妊娠中(うち1人は?)ということで通常の給料以外に、この2人の為だけに1年間で1万4千ドルほどの予算追加が必要になります。(日本のことはわかりませんが、ここでは妊娠中は毎月約1か月に受ける最低給料分の食料が配布されます。勿論雇い主の負担で国が決めた物資が配られます。)

出産前後3か月の休みとその期間の代わりの職員をうめる義務。子供が無事生まれたらお祝いとして給料以外に1か月分給料と同じ額のお祝い金の支払い。それから赤ちゃんの1歳の誕生日までまた食糧物資の給付と続きます。

③ BOLIVIAも冬に入り、学校も冬時間(30分遅く始まる。)になりました。2,3日寒い日が続く朝は0度にまで下がりジャガイモの苗も半分くらい霜にやられて枯れてしまいました。悔しい限りです。今年の冬は100年に1度の寒い冬になるとか言われていますのでみんな心配しています。防寒具を買うように言ったところで。早速風邪をひいて今週2人学校を休ませました。

④ グラシエラちゃん(1日に何度もけいれんを起こしていた子)やっと太ってきたのにまた食事がとれないようになり、重度の貧血状態。どんなに工夫して食事を作ってもダメですべて嘔吐しています。早くいろいろな検査をしてこの状態から抜け出させなければですが、この病院のシステムが悪く日にちだけが経って心配しています。良い病院ではお金がかかるので仕方ないです。これも悔しい一面です。

などなど今回は良いニュースを書くことができませんでしたね。ごめんなさい。

車いすを乗りこなすホスエや昭子さんお誕生日パーティの様子は...↑↑↑

エルピス会